

ジュニア賞

あいさつからはじまる明るい日本づくり

岡田 彩音 (高校2年生：香川県)

私は、日本の堅苦しい考えや空気を変え、もっと自由で明るい日本になってほしいことから、その一歩になれるゲームを提案します。明るい日本になるには、人々があいさつをしてたくさんコミュニケーションをとることが必要だと考えました。そのために、あいさつが毎日の習慣になれるようなゲームを作りたいと考えます。

まず、ゲームの内容は位置情報、音声機能、歩数計の機能や振動を感知する機能を使って、日常ですれ違った人や近くにいる人にあいさつをすること、あいさつを返すことでポイントが貯まるゲームです。

次に、各機能の働きについてです。位置情報では、町ですれ違った人のポイント数を確認する事ができ、ポイント数で負けたくないという競争心から、ポイント目当てにはなりませんがあいさつを増やすきっかけ作りになると考えました。

音声機能では、あいさつを返さなければポイントが減ってしまうルールの為、あいさつを返したのに、返さなかったと判断されてしまったというトラブルをなくす事ができます。一定の音量でないとあいさつとは認められないということになっています。

歩数計や振動を感知する機能では、会釈をすることや手を振ること、握手をすることという、声を出さずにできる動作のあいさつをカウントすることができます。

最後にあいさつをすること、あいさつを返すことで貯まるポイントについてです。このポイントは所有している人の人間としての魅力を表しています。このことから、就職試験や入試などで自分のアピールポイントとなります。

このようなゲームを作ることで、人々があいさつをしてたくさんのコミュニケーションをとるようになり、明るい日本になるのではないかと考えます。